被爆80年　核兵器のない、戦争もない平和な世界へ

　みなさん、こんにちは！原水爆禁止国民平和大行進です。1958年６月20日、広島平和公園からたった1人で歩きはじめた行動は、核の持ち込みを認めないとする原水爆禁止の訴えを国民にひろげながら、一日も休まず歩き、その姿に心を動かされた人びとが行進にくわわり、この年８月12日、東京の大隈講堂で開催される第4回原水爆禁止世界大会に到着したころには、のべ10万人が参加する大行進になりました。以来、全国で自治体や地域のみなさんの協力を得ながら、被爆者とともに核兵器のない平和の願いをつないで8月の広島、長崎をめざして歩いています。

　世界にはいまも約12000発の核兵器が存在し、紛争、戦争がつづいています。軍事衝突は多くの犠牲者をうみだすだけです。紛争、戦争が一日も早く終結し、平和が訪れることを願います。核兵器はぜったいに使ってはなりません。

　ことしは広島、長崎の被爆から80年を迎えます。80年の節目を迎えるにあたり、昨年12月、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞し、世界中から賞賛の声が届きました。

　1945年8月、アメリカが広島と長崎に落とした原子爆弾は、一瞬にしてふたつの市を壊滅させ、その年の暮れまでに合わせて21万人を超える人びとが原爆によって亡くなりました。その多くが、市内の作業に動員された学校の生徒や子どもたち、女性、お年寄りなど一般市民でした。かろうじて生き残った被爆者は、放射線による後障害などに苦しみながらも「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」と核兵器の非人道性と、その廃絶を世界に訴えてきました。ノーベル平和賞の受賞は「核兵器の使用はぜったいに許されない」という被爆者のメッセージです。

核兵器も戦争もない平和を、被爆者のみなさんと実現させましょう！
どなたでも飛び入り参加、大歓迎！

被爆80年 原水爆禁止 2025 国民平和大行進

なくそう 核兵器

日本被団協がノーベル平和賞受賞

被爆者の願いをつなごう

署名をあなたも

いっしょに歩こう！

原水爆禁止2025年世界大会（8/3−6広島・7−9長崎）に集まろう！

1958年から毎年、全国と広島・長崎をつないで歩いています。

最新情報はWebで
平和行進 検索
www.antiatom.org
Facebook 原水爆禁止日本協議会
facebook.com/Gensuikyo.jp

変えよう！
核兵器禁止条約に参加する日本へ

被爆者からのメッセージ

濱住（はますみ） 治郎（じろう）さん　日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）
（核兵器禁止条約第3回締約国会議ハイレベルセッション　スピーチより）

私は母親のお腹のなかで3カ月のときに被爆しました。父親は朝早く爆心地近くの会社に出かけたまま帰らぬ人となりました。いまも父親のことを思わない日はありません。私にはまだ戦争は終わっていません。なぜなら、いまだ世界に1万2120発の核兵器があり、4000発の核弾頭はいつでも発射される状況にあるからです。被爆者は核兵器がゼロにならなければ安心できないのです。

母親のお腹で原爆を浴びた若い細胞にとって、放射線の影響は計り知れないものがあります。妊娠早期に近距離被爆で生まれた人で「原爆小頭症被爆者」といわれ、身体や知能の発達が遅れている人たちがいます。胎内被爆者は生まれる前から被爆者という烙印が押されていると言われています。原爆は本人の未来を奪い、家族をも苦しめる「悪魔の兵器」です。被爆による悲劇を繰り返してはなりません。

被爆国日本が果たすべき役割

みなさん、被爆者の呼びかけを真摯にうけとめてください。そして想像してください。いま、核戦争の起きるかもしれない危険な国際情勢のもと、核兵器がどんな悲劇をもたらし、なぜ、廃絶しなければならないのか。

日本は広島、長崎の被爆につづき、アメリカによる水爆実験によって核被害を受けた国です。日本政府は人類生存にかかわる重大なカギを握っています。国民の61%が核兵器禁止条約を支持し、同条約に参加を求める署名はことしの4月までに300万を超えています。また、日本政府に対し、核兵器禁止条約への参加を求める自治体意見書決議には４月７日現在、全国の約40%の717自治体議会が採択しています。

被爆国日本の役割は「橋渡し」ではなく、核兵器廃絶のリーダーになることではないでしょうか。人類が核で滅びる前に、核保有国が自ら決めた核兵器のない世界の実現に貢献するよう強く求めます。

核兵器のない世界、日本の禁止条約参加へ、署名にご協力ください

平和行進をめぐる歴史 ダイジェスト

1945 8	米、広島(6日)、長崎(9日)に原爆投下
1946 1.24	国連第1回総会、第1号決議で「原子兵器の廃棄」求める
1954 3.1	ビキニ環礁で米の水爆実験、第五福竜丸を含む1000隻以上の船が被災
	原水爆禁止署名、全国に広がる
1955 8	広島で第1回原水爆禁止世界大会
1958 4.20	ロンドンから核兵器工場のあるオルダーマストンへ1万人平和行進(イギリス)
1958 6.20	第1回原水爆禁止国民平和大行進
	(西本あつし氏が広島から歩き出し、東京に到着するころには100万人が歓迎、参加)
1970 3	核不拡散条約(NPT)発効
1985 2.9	核兵器廃絶を求める「ヒロシマ・ナガサキからのアピール」国際署名スタート(2000年に6000万超)
1995 5	第5回NPT再検討会議、条約の無期限延長を決める
2000 5	第6回NPT再検討会議、核兵器廃絶の「明確な約束」決める
2005 5	第7回NPT再検討会議、核兵器廃絶・イラク反戦を結んだニューヨーク行動。日本から800余人参加
2010 5	第8回NPT再検討会議で「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを合意・ニューヨーク行動
	国連とNPT再検討会議に署名提出
2011 3	東日本大震災・東京電力福島第一原発事故おこる
2011 6	被災地連帯行進スタート
2015 5	第9回NPT再検討会議・ニューヨーク行動
2016 4	ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名(ヒバクシャ国際署名)スタート
2017 7.7	核兵器禁止条約採択
2020 10.29	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名スタート
2021 1.22	核兵器禁止条約が発効
2022 2.24	ロシアによるウクライナ侵攻
2022 6	核兵器禁止条約第1回締約国会議
2022 8	第10回NPT再検討会議
2023 5	G7広島サミット
2023 11.27~12.1	核兵器禁止条約第2回締約国会議
2024 3.1	「ビキニ被災70年から被爆80年へ―非核日本をめざす全国キャンペーン（非核日本キャンペーン）」スタート
2024 7~8	第11回NPT再検討会議第2回準備委員会
2024 12.10	日本被団協がノーベル平和賞受賞
2025 3.3~7	核兵器禁止条約第3回締約国会議

主催●原水爆禁止国民平和大行進中央実行委員会　提唱●原水爆禁止世界大会実行委員会　〒113-8464 東京都文京区湯島２-４-４平和と労働センター6F　TEL03-5842-6035　FAX03-5842-6033　http://www.antiatom.org/